

野村ブル・ベア セレクト6 (米国株スーパーブル6)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2015年10月5日)

作成対象期間(2014年9月30日～2015年10月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2014年9月30日から2017年10月5日までです。
運用方針	米国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の株価指数先物取引を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比率	式率	株先 物比率	式率	純資 産額
		税分	込配	み金					
(設定日)	円		円		%		%		百万円
2014年9月30日	10,000		—		—		—		100
1期(2015年10月5日)	9,479		0		△5.2		—		1,334

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

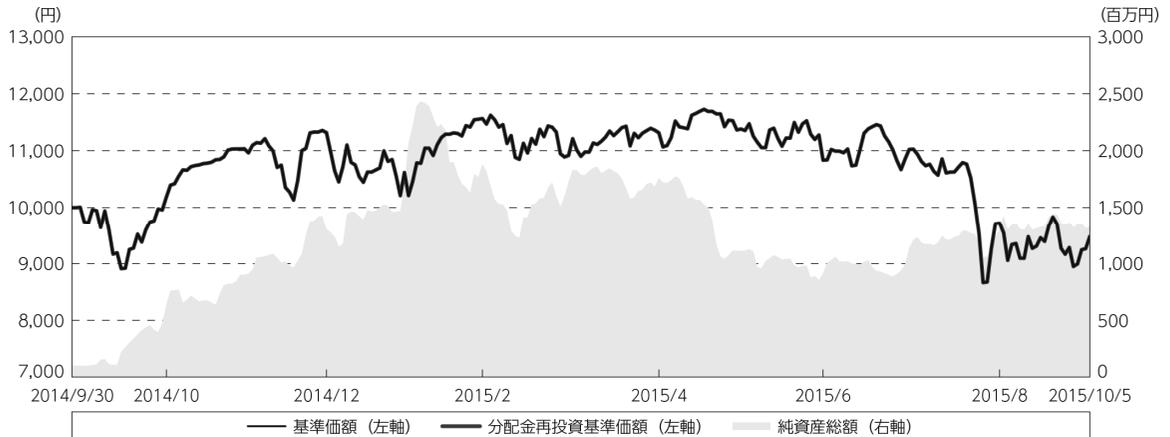
年月日	基準	価額		株組 入比率	式率	株先 物比率	式率
		騰	落				
(設定日)	円			%		%	%
2014年9月30日	10,000			—		—	—
10月末	10,186			1.9		—	233.1
11月末	11,032			10.3		—	201.0
12月末	11,318			13.2		—	201.6
2015年1月末	10,617			6.2		—	248.8
2月末	11,565			15.7		—	194.9
3月末	11,211			12.1		—	201.8
4月末	11,314			13.1		—	200.8
5月末	11,527			15.3		—	203.2
6月末	10,835			8.4		—	224.3
7月末	11,028			10.3		—	205.6
8月末	9,723			△2.8		—	223.8
9月末	8,994			△10.1		—	195.6
(期末)							
2015年10月5日	9,479			△5.2		—	198.1

* 騰落率は設定日比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,479円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。

○投資環境

設定以降、中東情勢の緊迫化やユーロ圏景気の悪化を示す経済指標が相次いだことなどを背景に米国の株式市場は下落しました。2014年10月上旬にはIMF（国際通貨基金）が世界景気の見通しを下方修正したことで更に下落しました。

10月中旬以降は、好調な7-9月期米企業決算発表が相次いだことなどから米国株式市場は上昇に転じ、10月末の日銀による金融緩和を受け株式市場は世界全般で上昇しました。その後もECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待や米国の早期利上げ観測の後退などから米国株式市場は上昇しました。

12月上旬には、ギリシャ大統領選挙の前倒し決定により政情不安が高まったことや、原油価格の急落による産油国経済の混乱が懸念されたことなどから中旬にかけ欧米の株式市場は下落しました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明により慎重な利上げ姿勢が確認されたことが好感され上昇したものの、ユーロ圏景気や原油動向などの先行き不透明感が懸念され再び軟調な展開となりました。

2015年2月に入り、原油価格が安定的に推移したことや、ギリシャのユーロ圏離脱懸念の後退などが好感され主要国の株式市場は上昇しました。6月以降は、米国の利上げに対する見方や、ギリシャの債務問題の進展状況などを巡り、一進一退の展開となり、8月に中国人民元の通貨切り下げをきっかけに世界的な景気減速懸念が高まり大幅な下落となりました。



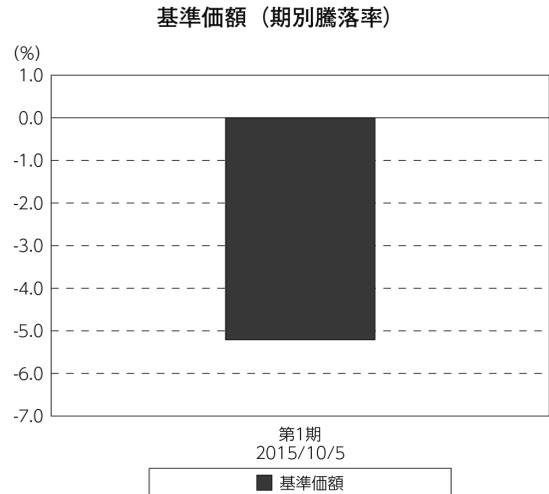
○当ファンドのポートフォリオ

わが国の短期公社債、コール・ローン等に投資すると共に、市況変動及び日々の設定・解約などに伴う純資産の変動を考慮し、日々の純資産総額に対するニューヨークダウ指数先物の買建比率が200%程度となるよう調整を行いました。また、米国ドルの変動による影響を低減するため為替ヘッジを行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが米国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

- (1) 経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2014年9月30日～ 2015年10月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後も当ファンドの商品性格に沿った投資成果をめざす運用を行って参ります。引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2014年9月30日～2015年10月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 124	% 1.153	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(47)	(0.439)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(71)	(0.659)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.071	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(8)	(0.071)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	133	1.230	
期中の平均基準価額は、10,719円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年9月30日～2015年10月5日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 168,627,253	千円 167,877,427

* 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

* 単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

(2014年9月30日～2015年10月5日)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買 建		売 建		当 期 末 評 価 額		評 価 損 益
			新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	
外国	株式先物取引	DJIAMVN	百万円 21,351	百万円 18,955	百万円 -	百万円 -	百万円 2,643	百万円 -	百万円 14

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2014年9月30日～2015年10月5日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	939	313	33.3	657	128	19.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2014年9月30日～2015年10月5日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 100	百万円 -	百万円 99	百万円 1	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2015年10月5日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	750,000 (750,000)	750,026 (750,026)	56.2 (56.2)	— (—)	— (—)	— (—)	56.2 (56.2)
合 計	750,000 (750,000)	750,026 (750,026)	56.2 (56.2)	— (—)	— (—)	— (—)	56.2 (56.2)

- * ()内は非上場債で内書きです。
 *組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 *金額の単位未満は切り捨て。
 *—印は組み入れなし。
 *評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
 *残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	千円	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円		
国庫短期証券 第547回※	—	310,000	310,000	—	
国庫短期証券 第561回※	—	440,000	440,026	—	
合 計		750,000	750,026		

- *額面・評価額の単位未満は切り捨て。
 *※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2015年10月5日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円	%	千円	%
	750,026	55.4		
コール・ローン等、その他	603,161	44.6		
投資信託財産総額	1,353,187	100.0		

- *金額の単位未満は切り捨て。
 *当期末における外貨建て純資産(356,689千円)の投資信託財産総額(1,353,187千円)に対する比率は26.4%です。
 *外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=120.01円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,675,520,993
コール・ローン等	235,001,317
公社債(評価額)	750,026,710
未収入金	348,768,873
未収利息	418
差入委託証拠金	341,723,675
(B) 負債	341,045,557
未払金	323,598,058
未払解約金	9,728,250
未払信託報酬	7,697,320
その他未払費用	21,929
(C) 純資産総額(A-B)	1,334,475,436
元本	1,407,890,000
次期繰越損益金	△ 73,414,564
(D) 受益権総口数	140,789口
1口当たり基準価額(C/D)	9,479円

(注) 期首元本額100百万円、期中追加設定元本額6,963百万円、期中一部解約元本額5,656百万円、計算口数当たり純資産額9,479円。

○損益の状況 (2014年9月30日～2015年10月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	139,029
受取利息	139,029
(B) 有価証券売買損益	△ 98,796,792
売買益	△ 42,956,217
売買損	△ 55,840,575
(C) 先物取引等取引損益	△ 29,362,760
取引益	223,944,987
取引損	△253,307,747
(D) 信託報酬等	△ 14,342,419
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△142,362,942
(F) 追加信託差損益金	68,948,378
(配当等相当額)	(306,676)
(売買損益相当額)	(68,641,702)
(G) 計(E+F)	△ 73,414,564
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 73,414,564
追加信託差損益金	68,948,378
(配当等相当額)	(306,676)
(売買損益相当額)	(68,641,702)
繰越損益金	△142,362,942

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年9月30日～2015年10月5日)は以下の通りです。

項 目	第 1 期
	2014年9月30日～ 2015年10月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	306,676円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	306,676円
f. 分配対象収益(1口当たり)	2円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1口当たり分配金 (税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

- ①運用報告書 (全体版) について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2015年6月19日>
- ⑤有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2015年8月3日>

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2015年10月5日現在)

年 月	ファンド名	[米国株スーパーブル6] [米国株スーパーベア6] [米国国債4倍ブル6] [米国国債4倍ベア6]
2015年10月		9
11月		2、20、26
12月		22、25、30

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。